

令和元年第8回定例会

江東区教育委員会会議録

令和元年8月23日（金）

江東区教育委員会

令和元年第8回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和元年8月23日（金）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和元年8月23日（金）午後12時15分
- 3 開会場所 教科書センター（江東区教育センター内）
- 4 出席委員 岩佐哲男（教育長）、橋本俊雄（教育長職務代理者）、
進藤孝、眞貝裕利子、鈴木清人
- 5 出席職員 武越教育委員会事務局次長、
岩井教育委員会事務局参事 庶務課長事務取扱、
谷川学校施設課長、太田整備担当課長、大町学務課長、
伊藤指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、
堀越教育支援課長（教育センター所長兼務）、
池田地域教育課長、栗原江東図書館長
佐久間主任指導主事

6 報告事項

- (1) 改築・大規模改修等工事期間中の学校移転先について
- (2) 「江東区放課後こどもプラン」事業の実施について

7 協議事項

- (1) 令和2年度小学校教科用図書採択について

8 審議概要

岩佐教育長 おはようございます。定刻になりましたので、ただいまより令和元年第8回江東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議の全案件について、傍聴したい旨、44名の申し出がありました。江東区教育委員会傍聴規則第3条では傍聴人の定員は5名と定められているところですが、同規則第9条に基づき、本日の会議については定員を20名といたします。江東区教育委員会傍聴規則により傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

（傍聴人入室）

岩佐教育長 傍聴人の方にお問い合わせ申し上げます。教育委員会の規則では、傍聴人は5名と定められているところですが、本日に限りまして、定員を20名とさせていただきます。教育委員会では教科書採択の議論を静ひつな環境のもとで行いたいと思いますので、どうぞ皆様のご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

本日の会議録署名委員をご指名いたします。橋本委員、進藤委員にお願いいたします。

それでは、審議に入ります。議事進行上の関係から、初めに協議事項1 令和2年度小学校教科用図書採択についてを議題といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に係る公正な選定、採択手続を期するために、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については、採択が終了した後に情報公開に付すことといたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 それでは、本案について、事務局より説明願います。

伊藤指導室長 それでは、本日の教科書採択の流れについて、ご説明をさせていただきます。

今回の教科書採択では、令和2年度から5年度の4年間、小学校等で使用する教科書についてご審議いただき、採択していただくこととなります。

資料1、小学校教科用図書教科別発行者一覧をごらんください。今回の採択対象となる教科書発行者を資料に示してあります。丸印のついております発行者が採択対象となっており、二重丸をつけている発行者は、現在使用されている教科書の出版社でございます。

ここに示された採択対象となる全ての教科書についての詳細な研究と、採択資料作成委員会での審議の結果をまとめて教育委員会に提出されたものが、資料2、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書でございます。教科書の種類ごとに1枚にまとめられております。後ほど主任指導主事のほうから内容についてご説明申し上げます。

この採択資料作成委員会結果報告書のもとになった資料が、資料3、教科書調査研究資料(小学校)、資料4、編修趣意書、資料5、江東区立学校教科用図書調査研究結果の3点でございます。資料3、教科書調査研究資料(小学校)には東京都で行いました調査研究内容がまとめられております。資料4、編修趣意書は、新しい教科書の編修の趣意について各発行者が記述したものを収録したものでございます。資料5、江東区立学校教科用図書調査研究結果は、各教科、発行者ごとに本区の調査部会の委員が5月中旬から6月下旬にかけて詳細な調査研究を行い、その結果をまとめたものでございます。

さらに、本区では教科書展示会を5月31日金曜から6月27日木曜の約1カ月間実施し、資料6、教科書展示会来場者集計表にありますとおり、教員、一般区民合わせて163名の来場者がございました。ここでいただきました区民、一般の方の意見をまとめたものが、資料7、教科書展示会で寄せられた意見などについて(区民・一般)、資料8、教科書展示会で寄せられた意見などについて(区立学校教員)でございます。

す。

それでは、これより主任指導主事が、資料2、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書により審議結果を報告させていただきますので、よろしく願いいたします。

なお、教科書の見本も用意しておりますので、あわせてごらんいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

岩佐教育長 それでは、国語の結果報告について、主任指導主事より説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書をごらんください。

内容の選択です。1点目、東京書籍は、各単元に学習の流れと身につけたい言葉の力が明記されている。2点目、学校図書は、読むことの代表的な教材に「国語のカギ」があり、その教材等で身につける知識や技能についての説明がある。3点目、教育出版は、各単元に「ここが大事」というコーナーがあり、その単元で身につけた国語の力を確認できるようになっている。4点目、光村図書出版は、各単元に新学習指導要領の評価の観点に対応した3つの振り返りの観点が示されている。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現3点、使用上の便宜5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮4点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題なった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、国語スタンダードについて、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、オリンピック・パラリンピックに関する教材について、6点目、江東区にかかわることについてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、国語の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問等ありましたら、ご発言いただきたいと思えます。

橋本委員 本区では、「どの子ども伸びる 学びのまち こうとう」というキャッチフレーズをもとにしまして、こうとう学びスタンダードに取り組んでいます。国語もスタンダードが示されていますが、本年度からスタートした国語スタンダード、これはネクストステージという形になっておりますが、指導ポイントはどのような点であるかをまず教えていただきたいと思えます。

伊藤指導室長 これまでの学校での取り組みの成果を踏まえながら、子供たちの主体的な学びを一層推進すること、幼稚園から小学校、小学校から中学校な

どの学びの連続性をより重視した指導を行うことなどがポイントとなります。

具体的な授業場面では、子供たちの授業の初めに目当てや見通しを持たせます。そして、その時間に身につけさせたいことを対話的な学びを通して学ばせ、最後に自らの学びを振り返らせるといった活動が一例となります。

進藤委員 そうすると、子供たちが、その時間の目当てや見通しを持って授業に取り組むことがより大切なこととなっているわけであります。その視点で各社を見比べてみると、東京書籍、学校図書、光村図書出版は、2年生以上の巻頭に学習の進め方が掲載されています。この3社は学習の初めに見通しを持つという項目があり、東京書籍は教材に入る前に「つかむ」というページがあり、目当てや活動が明記されていて、見通しを持たせやすいと思います。学校図書は、「学習のてびき」、「めあて」が示されています。光村図書出版は学習のページに「見通しをもとう」という項目があり、活用できるのではないかと考えております。

鈴木委員 光村図書出版の教科書を見ますと、「見通しをもとう」、「とらえよう」、「ふかめよう」、「まとめよう」、「ひろげよう」、「ふりかえろう」という構成になっています。各社とも学習の流れの示し方は似ていますが、細かく見比べてみると、光村図書出版が一番丁寧に学習の流れを示していると思います。各社とも国語スタンダードネクストステージで示している指導の流れとの矛盾はないように思います。

岩佐教育長 ほかに。

眞貝委員 見通しについての話題が続きましたけれども、授業でどのようなことを学んだか振り返る振り返り方も細かく見ますと各社に違いがあります。東京書籍は、「どんなところが工夫されていると思いましたか」のように、自分の考えを言葉で表現させております。学校図書と教育出版は、「何々ができましたか」と目当てなどが達成できたかどうかを答えさせています。光村図書出版は、報告書にあるように、新学習指導要領の評価の項目に即した3観点について、「どのようなことを気をつけましたか」のように、自分の言葉で表現させております。できたかどうかだけでなく、自分の言葉で振り返らせることで、自分の考えを改めて整理させることができるのではないのでしょうか。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかにはいかがでしょう。

橋本委員 国語は全ての教科の学習の基盤となる教科だと私は考えています。子供たちの語彙が豊かになるとともに、学習のポイントを理解しながら楽しく学べる教科書がよいと思っています。東京書籍は「言葉の力」、学校図書は「国語のカギ」、教育出版は「ここが大事」、光村図書出版は「たいせつ」と、各社ともにその教材で身につけるべき知識や技能が明記されています。そのように考えております。

進藤委員 東京書籍は、巻頭にその学年の言葉の力が示されています。学校図書と光村図書出版は巻末にまとめられていますね。東京書籍は学年の初めに1年間の学習の見通しを持つことができ、学校図書と光村図書出版は学年末に1年間の学習を振り返ることができるのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかには。

眞貝委員 国語には長年親しまれてきた各社に共通した教材が幾つかあります。私は4年生で学習する「ごんぎつね」を見比べておりましたけれども、各社の学習のページを見比べてみますと、学校図書は視点の変化や物語の終わり方など、4年生が考えるのは少し難しい問いだと感じます。一方、教育出版は問いの下にさまざまな視点で既に意見が書かれてしまっているため、自分で考えなくても済んでしまいます。それに対しまして、光村図書出版は学習のページが見開き1ページにおさまっていて、問いの下に考える視点などのヒントが示されています。また、「ひろげよう」では、自分たちでさらに深めたいことを話し合うといった主体的な活動へつながっていきます。光村図書出版の学習のページは、子供たちにとって学びやすいのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
これまでに、国語スタンダードとの関連、あるいは子供の学びやすさについてということでご意見をいただきました。さらに別の視点でご意見がありましたらお願いします。

鈴木委員 大きさは各社ともB5判になっていて同じだと思いますけれども、学校図書と教育出版は全学年上下分冊となっています。東京書籍と光村図書出版は4年生までが上下分冊、高学年は1冊となっています。子供たちが持ち運ぶことを考えますと、より軽い教科書がよいと思いますが、教科書を選ぶ前提として、学びやすい教科書、指導しやすい教科書となっているかということが重要ではないかと考えます。

進藤委員 私も今の委員の意見と同感でございます。教科書の内容を重視したい

と思います。指導内容とのかかわりとなりますが、江東区は松尾芭蕉ゆかりの地であり、俳句教育に力を入れています。国語スタンダードにも、「季節を感じ、俳句に親しみます」という項目があります。各社ともに3年生に俳句を親しむ学習がありますが、東京書籍は6年生に、学校図書、教育出版、光村図書出版は5年生に俳句づくりの学習があります。どの教科書も俳句を扱っておりますが、学校図書の3年生の俳句には、江東区にある芭蕉記念館の石碑の写真も掲載されて、なかなかいいのではないかと思います。

岩佐教育長 ほかにいかがですか。

橋本委員 今、私も見ていますけれども、東京書籍、学校図書、光村図書出版は各学年に季節の言葉や俳句等を紹介するページがありますが、その中でも学校図書と光村図書出版は四季に合わせて季節感のある写真やイラストをふんだんに取り入れてありますので、その点に私はすごく注目しております。

岩佐教育長 ほかにいかがでしょう。

鈴木委員 私は、皆さんが出された意見に加えて、これからの時代を生きる子供たちには情報活用能力を身につけることが大切だと思います。各社とも新聞やインターネットの活用等、情報活用能力を高めるための学習活動があります。その中でも、報告書にあるとおり、光村図書出版は2年生以上に情報のページがありまして、情報活用能力を高めることが期待できるのではないかと思います。

眞貝委員 光村図書出版の教科書は、総合的に見て学びやすい教科書となっているのではないのでしょうか。私は光村図書出版の1年生下の教科書と、6年生の巻末についている表彰状もすてきな工夫だと思いました。頑張って学習してきた成果を自分で認めていくということは、自己肯定感を高めることにもつながっていきます。こうしたちょっとした工夫も光村図書出版の教科書のよさだと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。

ほかにいかがですか。

今まで出された意見を整理しますと、国語スタンダードを身につける指導がしやすいということ、子供たちが学びやすい教科書の構成になっているということ、それから、俳句教育との関連を図りやすいこと、以上3つの理由から、光村図書出版を採択したいと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、国語については光村図書出版を採択することといたします。

 それでは、続きまして、書写の結果報告について、主任指導主事より説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、書写の結果報告書をごらんください。

 内容の選択。1点目、東京書籍は、各単元に「書写のかぎ」が記載されており、整った文字を書くためのポイントが穴埋め形式で示されている。2点目、学校図書は、各単元に「書き方のカギ」が示されており、整った文字を書くために気をつける視点が示されている。3点目、教育出版は、各学年とも巻頭に前の学年の学習内容と、この1年で学習する内容がまとめて示されている。4点目、光村図書出版は、2年生以上の全単元に「たいせつ」という項目があり、何に気をつけて書けばよいか記載されている。5点目、日本文教出版は、3年生以上の巻頭に折り込みで「書写学習の進め方」が掲載されており、学びの手順や方法がわかる。

 そのほか、構成・分量5点、表記・表現4点、使用上の便宜2点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮5点となっております。

 なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、水書用紙等の教材について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについてなどとなっております。

 以上です。

岩佐教育長 それでは、書写の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問ありましたら、ご発言をお願いします。

眞貝委員 文字を正しく整った形で書くということは、大人になってからも必要とされる大切な技能だと思います。書写の時間は、その基礎を学ぶ大切な授業だと思います。その観点で教科書を見てみますと、各社とも基礎・基本の習得に力を入れております。特に学校図書には「書き方のカギ」という項目があり、正しく整った文字を書くためのポイントが簡潔にまとめられております。また、東京書籍では「書写のかぎ」という項目があり、正しく整った文字を書くためのポイントを穴埋め形式で記載されていて、児童が自分で考えながら大切なことを学ぶことができるように工夫されていると思いました。

岩佐教育長 ありがとうございます。

ほかには。

鈴木委員 東京書籍の「書写のかぎ」は、巻末にもまとめられて掲載されています。5年生であれば、42ページから44ページまで掲載されています。これまでに学習した内容が全てまとめられているので、復習にも適しているのではないかと思います。また、光村図書出版も「たいせつのまとめ」というページがありまして、その学年で学習した内容が、正しく整った字を書くポイントがとても見やすくまとめられているので、教員にとっても児童にとっても学びやすい教科書ではないかなと思います。

進藤委員 正しく整った文字を書くためには、書く姿勢も大切になると思います。各社とも書く姿勢について巻頭に大きな写真を掲載しています。学校図書と日本文教出版は、折り込みのページでより多くのスペースを使っています。見やすくなる反面、机の上では、広げるとほかの用具を置くスペースがなくなってしまうというデメリットもあるのではないかと私は考えております。

橋本委員 こうとう学びスタンダードの中にも姿勢について項目があります、「グー・ペタ・ピン」という合い言葉が江東区の小学校では定着しているようですが、各社ともに似た合い言葉を掲載されています。教育出版の合い言葉が「ぴん・ぺた・ぐう」という形なので、一番近いですね。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかにはいかがですか。

眞貝委員 毛筆の学習が始まる3年生の教科書を見比べているのですが、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版は、イラストだけではなく、「すうっ」、「ぴたっ」など、擬音語も交えて力入れぐあいがイメージしやすくなっております。特に力入れぐあいが難しい「はらい」について、教育出版は18、19ページ、光村図書出版は21、22ページと、どちらも2ページを使って大きく説明しております。初めて毛筆を使う子供たちに基礎・基本を身につけやすくなっているのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかには。

橋本委員 光村図書出版には、3年生の教科書の巻頭に、このキャラクターと擬態語を使った「たしかめようシール」があります。児童が楽しみながら自分が書いた字を振り返るのもいいかなと思います。

進藤委員 先ほど国語の教科書を採択したわけですが、国語と書写の教科書は同じ発行者がよいなどということはあるのでしょうか。

伊藤指導室長 教科書によっては国語の教科書の題材を書写で取り上げるなど、教科書との関連を図っている教科書もあります。ただし、必ずしも同じでなければ指導できないというわけではありません。

岩佐教育長 よろしいですか。

進藤委員 光村図書出版の4年生、24ページには、「リーフレットの書き方」というページがあります。これは国語の「伝統工芸のよさを伝えよう」という単元と関連を図って指導できるというメリットがとてもいいと思います。また、光村図書出版には、国語だけではなく、英語や社会といったほかの教科と関連あるページがある点もよろしいのではないかと考えております。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかにはいかがですか。

鈴木委員 他教科との関連といえば、東京書籍には、例えば3年生の26、27ページに「実験したことを記録しよう」という理科と関連づけたページがあります。また、教育出版にも、4年生の18、19ページに「学習内容をまとめる」という社会と関連づけたページがあります。どちらも他教科と関連づけたページが充実しているのではないかと思います。

岩佐教育長 ここまで基礎・基本の習得という観点、そして、他教科との関連という観点、さらに指導のしやすさ、子供の使いやすさについてのご意見をいただいたところですが、それ以外の観点からのご意見はございますでしょうか。

眞貝委員 教科書の大きさを比べてみますと、東京書籍だけがほかの4社に比べてやや大きいです。見開きで比べてみますと大きな差があります。お手本を大きく掲載できるというメリットがある一方で、机の上に置いたときに、机が狭くなってしまうという懸念もあると思います。

岩佐教育長 ほかに。

橋本委員 昨今では、小さなころからスマートフォンやタブレット、もうPC時代と呼ばれておりますけれども、文字を書くこと自体が減っている状況

の中で、この書写の学習を通して日常生活でも文字を書くことに親しんでもらいたいという思いがかなりあります。各社ともにはがきの書き方など日常生活に生かせる学習が掲載されています。その中でも、光村図書出版では6年生の教科書に「書写ブック」というのがついています。手紙の書き方やはがきの表書きなど、1年生から6年生まで学習した日常生活に活用できる知識がまとめられていて、非常に活用しやすい。これは私も欲しいです。

岩佐教育長 ありがとうございました。
ほかにいかがですか。

鈴木委員 私も社会に出てから生きていく力を学校で身につけてほしいと思っています。そういう観点から、この光村図書出版の「書写ブック」は活用しやすいと思いました。手紙やはがきを書く際のマナーは社会人にとって必須の知識ですし、ポスターをつくるときの工夫についても、ポスターのみならず、人に情報を伝える際のポイントが示されています。小学校卒業後も手元に置いておきたい内容だと思いました。

岩佐教育長 そうですね。
ほかにいかがですか。
今までいただいた意見を整理しますと、基礎・基本の習得を図りやすいこと、他教科と関連づけた指導がしやすいこと、それから、今出ました実生活に結びついた指導がしやすいこと、この3つの理由から、光村図書出版を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、書写については光村図書出版を採択することといたします。
続いて、社会の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、社会の結果報告書をごらんください。
内容の選択。1点目、東京書籍は、社会的な見方・考え方を、空間、時間、相互関係、比較・分類のマークで示し、それを活用することで主体的な学習ができるようにしている。2点目、教育出版は、「この時間の問い」、「みんなでつくった学習問題」を示し、単元を通して理解や考えを深められるようにしている。3点目、日本文教出版は、児童の問いから学習が進むように構成され、学習の過程をわかりやすく示すことで主体的に学習できるようにしている。
そのほか、構成・分量3点、表記・表現4点、使用上の便宜2点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮3点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、社会科の見方・考え方や学習の進め方について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、副読本の取り扱いについて、6点目、江東区にかかわることについてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、社会の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問いただければと思います。いかがでしょうか。

鈴木委員 新しい学習指導要領では、各教科において見方・考え方が示されています。社会科でも、他教科と同じように見方・考え方を働かせながら学ぶことが重要になってきています。

日本文教出版では、物事を見たり考えたりするための「見方・考え方コーナー」を設けて、子供たちが見方・考え方を働かせて学ぶ手だてとしています。東京書籍では、社会的な見方・考え方の内容である空間、時間、相互関係、比較・分類を具体的にマークで示して、それを活用することで主体的な学習ができるようにしている点が非常に特徴があると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかにはいかがですか。

橋本委員 3社とも巻頭に学習の進め方が示されています。子供たちが見通しを持って学べるようになってきていると思われれます。教育出版では、学習の進め方を「つかむ」、「調べる」、さらに「まとめる」、そして「次の学習や暮らしにつなげる」という示し方をしています。これは子供たちだけではなくて、授業をする先生たちにとってもすごく指導しやすくなっているのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかにはいかがですか。

眞貝委員 新学習指導要領では、6年生は政治について先に学んでから歴史を学習する構成になっていると伺っております。3社とも政治の学習の中で子育て支援施設ができるまでの過程が掲載されており、待機児童などの現代的な課題について学べるようになってきているなど、時代によって学ぶ内容が変わってきていることがわかります。

子供たちの使いやすさを考えますと、東京書籍は「政治・国際編」と「歴史編」と分冊で構成されており、学びやすい印象を受けております。

岩佐教育長　ほかにはいかがですか。

進藤委員　本区にかかわる内容の掲載については、結果報告書によると、教育出版では、「戦争と人々の暮らし」の中で、空襲で被害を受けた地域に江東区の名前が挙げられているようですが、ほかにも本区にかかわる掲載などがありますか。

伊藤指導室長　例えば東京書籍では、5年生の表紙に江東区の青海が、また、6年生の19ページに、平和を祈る式典の様子で、亀戸のふれあい橋付近の写真が掲載されております。

岩佐教育長　よろしいですか。

進藤委員　これで言いますと、灯籠流しをしている様子そうですね。3、4年生は、自分たちが住んでいる地域、江東区や東京都のことについて学習するようですが、教科書を見ますと、取り上げている地域は他府県であるなどさまざまです。そうすると、本区で作成している副読本はとても重要な資料となりますね。副読本と教科書の使い方はどのようになっているのでしょうか。

伊藤指導室長　3、4年生の学習では、副読本である『わたしたちの江東区』も活用することとなっております。委員がおっしゃったとおり、審議いただいています教科書については全国版となっておりますので、取り上げている地域はさまざまとなっております。子供たちは、自分たちの地域と比較したり関連させたりして学びを深めていくということになります。また、子供たちから出された質問などをもとにして課題を設定して、その解決に向け、教科書や副読本を活用して問題解決学習に取り組んでいくこととなります。

進藤委員　わかりました。ありがとうございます。

岩佐教育長　ほかには。

鈴木委員　問題解決的な学習について、子供たちが問いを持てるよう各社とも工夫されていると思います。日本文教出版では、单元ごとに児童の問いから学習が進むように構成されていて、学習の過程をわかりやすく示すことで主体的に学習できるようになっています。採択資料作成委員会の結果報告書からも、東京書籍では「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「いかす」という学習の過程や学習問題を常に意識できる工夫がされて

います。このような構成から、児童が主体的に学習を進めることが期待できると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。

いただいた意見を整理しますと、子供たちが社会的な見方・考え方を働かせながら学べる教科書であるということ、それから、学習の進め方が明確にわかる教科書の構成上の工夫があるということ、そして、一番最後に出ました問題解決的な学習を進めるための工夫があるということで、以上3つの理由から、東京書籍を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、社会については東京書籍を採択することといたします。

続いて、地図の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、地図の結果報告書をごらんください。

内容の選択。1点目、東京書籍は、地図帳を3年生から使用することを踏まえ、鳥瞰図を用いたり、地図の仕組みや約束事を示したりして地図学習のページを充実させている。2点目、帝国書院は、3年生が初めて地図帳を使うことを踏まえ、方位や地図記号などの地図の約束から地図帳の使い方まで12ページにわたって掲載されている。3点目、各社とも47都道府県を学ぶページでは、都道府県の形の特徴をクイズ形式に示して楽しみながら習得できるようにしている。

そのほか、構成・分量3点、表記・表現4点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮といたしまして2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、地図帳の活用方法について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、オリンピック・パラリンピックに関連する教材について、6点目、日本固有の領土の記載についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、地図の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問をいただきたいと思います。

眞貝委員 地図帳を使い始める学年は3学年からと伺っております。初めて地図帳を手にする子供たちがわくわくしながら学べる工夫、また、使いやすい工夫がされていることが大切だと感じております。各社ともに1、2

ページには世界の様子がわかるように示してあり、地図帳への興味が持てる工夫がされております。帝国書院は、3年生が初めて地図帳を使うことを踏まえ、地図の約束から地図帳の使い方を12ページにわたって掲載している点がとても丁寧でよかったと思います。

岩佐教育長 ありがとうございました。

進藤委員 そうですね。私も同感でございます。地図帳には、子供たちにとって親しみやすい工夫がされていることが大切だと思います。各社とも47都道府県を学ぶページでは、都道府県の形の特徴を捉えクイズ形式に示しており、楽しみながら学習できるようにしているのがいいですね。例えば、「一番多くの県と接している都道府県は？」という問題がありますが、長野県に接している都道府県が8つあることをクイズ形式で学べるようにしています。この辺がよろしいかと思えます。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかに。

鈴木委員 楽しく学べる工夫があることはいいと思います。また、身近なことについても示されていることが大切かと思えます。開催1年前になった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ですが、ご存じのとおり、江東区では10会場で競技が実施される予定となっています。東京書籍では、「首都東京」のページで江東区で行われる種目が示されています。帝国書院は、「日本の首都・東京」、「東京都とそのまわり」のページで、江東区で行われる種目と会場名まで示されているのがいいと思います。特に帝国書院の62ページは江東区の記載が充実しています。5年生は全員区内の競技場をバスでもう見学していると聞いております。自分たちが見学した会場を含めて、改めて地図帳で確認できるのは大変に楽しくてうれしいことではないかと思えます。

岩佐教育長 区独自のオリパラ学習との関連があるということですね。
ほかにいかがですか。

橋本委員 地図帳の後半にさまざまな資料が掲載されています。東京書籍では、資料地図、統計表、帝国書院は資料図という項目で、調べる学習などをする際に活用できるようになっています。地形や気候に関する資料を見ますと、帝国書院のほうが資料が見やすく、活用しやすくなっているように思えます。

先ほどの社会は東京書籍が採択されましたが、地図帳も同じほうがいいんですかね。使いやすさとか体裁とか。

岩佐教育長 どうですか。

伊藤指導室長 子供たちが学習する上で、特に問題になることはございません。

岩佐教育長 よろしいですか。

橋本委員 ありがとうございます。

岩佐教育長 ほかにございますか。

それでは、いただいた意見を整理しますと、子供たちの興味・関心を高め、楽しく学べる工夫が見られるということ、地図帳の活用方法がわかりやすく示されるとともに、資料が充実し、子供たちの主体的な学習が期待できるということ、それから、江東区についての記載が充実していて、オリンピック・パラリンピック教育にも活用ができる内容であるということ、以上3つの理由から、帝国書院を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、地図については帝国書院を採択することといたします。

続いて、算数の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、算数の結果報告書をごらんください。

内容の選択。1点目、東京書籍は、2年から6年生において、単元末の「つないでいこう 算数の目」という項目で、その単元で働かせてきた数学的な見方・考え方を振り返っている。2点目、大日本図書は、単元末に「ふくろう先生のならほど算数教室」があり、働かせてきた数学的な見方・考え方を振り返り、今後の学習や他教科とのつながりを示している。3点目、学校図書は、数学的な見方・考え方を働かせるためのキャラクターとして、単元中に「考え方モンスター」が設定されていて、課題を解決するための手がかりを示している。4点目、教育出版は、「学びの手引き」で、その学年で働かせる見方・考え方を、巻末の「学びのマップ」において、前学年までの学習で働かせた数学的な見方・考え方を示している。5点目、啓林館は、単元中に「学びのめばえ」を表記し、巻末の算数資料集で数学的な見方・考え方を働かせることについてヒントや表現方法を示している。6点目、日本文教出版は、単元の中にあるキャラクターの吹き出しや鍵マークにより見方・考え方を働かせるヒントを示している。

そのほか、構成・分量6点、表記・表現7点、使用上の便宜6点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮6点となっております。

ります。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、算数スタンダードについて、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、数学的な見方・考え方について、6点目、新たに加わった指導内容についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、算数の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問をお願いいたします。

眞貝委員 教科書の大きさなどを見てみますと、6年生は1冊のところも多いのですが、2年生から4年生は大日本図書以外上下分冊になっているところも多いわけです。国語でも話題となりましたけれども、子供たちの持ち運びを考えますと、先生方の指導や子供たちの学びに影響がなければ、東京書籍、学校図書、日本文教出版のように多くの学年で分冊になっているものが好ましいのではないのでしょうか。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかには。

鈴木委員 私は、先ほど社会で話題になりました各教科の見方・考え方の記載について見ています。東京書籍は、単元の終わりに「つないでいこう 算数の目」として学習を進めていく上で大切な見方・考え方を示しています。また、学校図書は「考え方モンスター」というキャラクターを設定して、学習場面で働かせる見方・考え方が明確になっています。教育出版は巻頭と巻末に「学びの手引き」があり、見方・考え方について示しています。東京書籍、学校図書、教育出版は、子供たちが見方・考え方を働かせて学べる教科書になっているのではないかなと思います。

進藤委員 新学習指導要領に新たに示された内容としては、プログラミング教育があると思います。各社ともに5年生の正多角形の単元で取り上げています。子供たちの興味、関心を高めるとともに、正多角形についての理解を深めることにつながる内容になっているのではないかと私は思います。

岩佐教育長 ありがとうございました。
ほかには。

橋本委員 私はよく学校公開などに行かせていただいているんですけども、算

数は少人数指導や習熟度別指導という形で行われていて、授業を見ますと、子供たちは習熟の状況に応じて補完的な問題を取り組んだり、それから、発展的な問題に取り組んだりしています。

私は教科書に、子供に自力解決能力を促しましょうというヒントのようなものがあつたほうがいいのかと思って見ております。東京書籍や大日本図書、日本文教出版はキャラクターを使いまして、そういうヒントを促しているのではないかと、それがすごくいいなと思っています。

岩佐教育長 工夫がありますね。ほかにはいかがですか。

眞貝委員 算数はわかる、わからないがはっきりとした教科で、子供たちの中には苦手意識を持っている子も多いと感じております。そういった意味からも、基礎的、基本的内容など、算数スタンダードをしっかり身につけることができる教科書がよいと思います。

東京書籍の教科書を見ますと、目当てが双葉マークで明示してあり、子供が見通しを持ちながら学習を進めていけることができるようになってとてもよいと思います。

また、学校図書は18ページの「はてなを発見、同じものはどれ？」漫画で日常生活など、身近な場面を通して問題を発見できるようにするなどの工夫が見られる点がいいと思いました。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

鈴木委員 算数スタンダードのお話がありましたけれども、今年度から取り組んでいる、こうとう学びスタンダードで重視していることの1つとして、幼児期から中学生までの学びの接続があります。

教科書を見ますと、各社ともに幼児期の経験を生かしたり、中学校での学習に期待が持てるように工夫された教材が設定されていて、大変よいと思います。

進藤委員 幼児期との接続ということで考えますと、入門期の子供たちが使いやすいよう、薄くて大きい冊子を用意して、2分冊としている東京書籍、1年生の教科書が使いやすいのではないのでしょうか。小学校に入ったばかりの子供たち、教科書やノートを使うことを考えると、とても適しているのではないかと私は考えております。

岩佐教育長 とてもいい工夫ですよね。ほかにはいかがですか。

橋本委員 私も見て、東京書籍がいいなと思っています。採択資料委員会の報告書を見ますと、ブロックやおはじきを教科書の上で操作しながら、

遊びながら学べるという利点がこの教科書にはあると思います。

ほかの学年においても、目当てを持って学習できる内容と構成になっていると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。

これまでいただいた意見を整理しますと、子供たちが数学的な見方・考え方を働かせ、見通しを持って学べる構成になっていること、そして、目当てが明確に示されているなど、教員にとって指導しやすく、子供にとって使いやすい工夫がされていること、それから、3点目、幼児期等との接続が図られているなど、算数スタンダードの定着が期待できること、以上、3つの理由によりまして、東京書籍を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、算数については、東京書籍を採択することといたします。

それでは、続いて、理科について説明をお願いします。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、理科の結果報告書をごらんください。

内容の選択、1点目、東京書籍は単元の導入部分でイラストや写真を多く使用しており、児童の問題意識を高めるよう工夫している。2点目、大日本図書は問題、予想、計画、実験、結果考察、結論で学習の流れを示し、問題に対する結果のまとめ方や結論が端的に示されている。3点目、学校図書は各単元の導入で、問題解決学習の流れを示し、問題解決の過程を繰り返し学べる構成としている。4点目、教育出版は問題に対する予想をする段階で、子供のイラストを用いて考え方の例を具体的に示している。5点目、啓林館は単元導入時の問いと同じ問いを「もう一度考えてみよう」で単元末にも設定し、学習の終わりに自己評価ができるようにしている。

そのほか、構成・分量5点。表記・表現6点。使用上の便宜6点。各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮5点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、プログラミング教育について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、問題解決的な学習の進め方についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、理科の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問をお願いします。

橋本委員 まず、教科書の大きさについてですが、東京書籍が一番大きくA4判、教育出版が2番目に多く、大日本図書、教育出版、啓林館はそれより小さいAB判の大きさになっております。

東京書籍は大きい分、写真やイラスト、吹き出し等によるインパクトなどが多く掲載されているようです。丁寧な説明が多い分、児童が自由な発想をするというよりも、掲載されている内容を答えてしまう可能性があるような感じに思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにいかがですか。

鈴木委員 理科では、観察や実験を多く行うため、その際の安全面での配慮が大切だと考えます。各単元で行う観察や実験について、どの教科書も危険や注意として、安全に実験を行うための注意点が書かれています。巻末にも観察や実験で使用する道具の使い方がまとめて掲載されていて、児童がみずから確認できることができそうだと思います。

岩佐教育長 ほかにいかがですか。

眞貝委員 私は大日本図書の3年生の教科書巻末を見ましたが、道具の使い方だけでなく、図鑑のような写真、自然の観察として身近な植物や昆虫などの動物の写真が掲載されており、3年生最初の単元である身の回りの生物で活用できそうだと考えました。

進藤委員 大日本図書だけではなくて、教育出版や啓林館にも同様の資料が掲載されています。児童が教科書を資料として主体的に活用し、観察に取り組めるのではないかと思います。

岩佐教育長 ほかに。

橋本委員 私は6年生の巻末資料を見ていますが、安全面ということの配慮としまして、東京書籍、大日本図書、学校図書の6年生の教科書の巻末に、理科室の使い方が掲載されています。理科室の使い方はなかなかわからないところがいっぱいあるんですけども、理科室のイラストや写真があって、事前に実験をするための配慮なんかはすごく書かれています。特に東京書籍と大日本図書は注意すべき点を示すだけではなく、なぜ注意しなきゃいけないのかということ、守らなきゃいけないことなどがちゃんとあって、児童が安全に行おうとする意識を高めるためにとても効果的だと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

鈴木委員 安全面の配慮だけでなく、どの教科書も実験の行い方が写真やイラストとともに丁寧に掲載されています。特に3年生で行う初めての実験では、大日本図書、啓林館は実験を成功させるためのポイントについて、ポイントとして明記してあるため、児童にとってはわかりやすいのではないかと思います。子供たちが迷わずに実験が行えるよう配慮された教科書は、経験の浅い教員にとっても指導しやすいのではないかと思います。その点では、大日本図書、啓林館は評価できると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにいかがですか。

眞貝委員 プログラミング教育についてでございますけれども、新学習指導要領では、プログラミング教育が6年生の理科、電気の利用の単元で扱われることが示されております。各社ともプログラミング教育に関する内容の記載が見られておりますけれども、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版は身の回りにあるセンサーについて考える活動から導入されており、子供たちにとってプログラミングを身近に捉え、その後の学習につながっていくように工夫されていると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。

進藤委員 子供たちの活動を重視している教科書もあります。啓林館はシールを使って模擬的にプログラムをつくる活動を行い、プログラミングについての理解を深められるよう工夫されております。

また、大日本図書はプログラミング体験として、実際にセンサーを使い、暗くなったら人が通ったらダイオードを発光するプログラムをつくる活動を取り入れています。新学習指導要領では、子供たちが実際にプログラミングを体験することをとても重視していますので、江東区の子供たちには、ぜひこの体験を通じて学ばせてあげたいと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。

橋本委員 今、進藤委員がおっしゃっていたプログラミングもそうですけれども、失敗する、もしくは、もう一回やってみようかなと思う、どの教科書にも巻頭で問題解決的な学習の進め方について記載されております。イラストや写真、吹き出しなどを用いて児童の意欲を高めながら、順序立てて学習が進むよう配慮されていると感じています。

岩佐教育長 工夫がありますよね。ありがとうございます。ほかには。

鈴木委員 大日本図書は、発達段階に応じて問題解決の学習の流れや、新しく言葉を変えています。3、4年生では「予想しよう」や「考えよう」という表記が、5、6年生になると「問題、予想、計画、実験、結果、考察、結論」という表記になる。3、4年生では親しみやすく、5、6年生では中学校への接続も意識した表記となっていて、大変よいと思います。また、大日本図書は、問題に対する答えが結論として明確に対応しているのもよいのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかには、よろしいですか。
いただいた意見を整理しますと、体験を通してプログラミングは学べること、それから、安全に配慮しながら児童が活動しやすいこと、そして、教員にとって指導がしやすい構成であること、最後に、問題解決的な学習が進みやすいこと、以上、4つの理由で大日本図書を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、理科については、大日本図書を採択することといたします。

続いて、生活について、説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、生活の結果報告書をごらんください。
内容の選択、1点目、東京書籍は児童が学びの見通しを持てるよう、各ページの左上に小単元、活動内容、児童は何をするのかという視点で端的にあらわしている。2点目、大日本図書は、印象的な風船のマークを用いて、各ページでの目当てをわかりやすい言葉で示している。3点目、学校図書は各左ページの上部に「どきどき、生き生き、ふむふむ、にこにこ」の表記を示し、4段階で学習の深まりを意識できるようにしている。4点目、教育出版は各ページの右端にヒントのコーナーを設け、結びつける、比べるなど、児童の思考のスイッチとなるようにしている。5点目、光村図書出版はホップ、ステップ、ジャンプの3段階で単元を構成し、ジャンプでは振り返りをシールに記入できるように工夫している。6点目、啓林館は各単元を「わくわく、生き生き、ぐんぐん」の3段階で構成し、導入の「わくわく」では、「わくわくボックス」で児童の意欲を高めている。7点目、日本文教出版は特に導入で実際の授業の臨場感あふれる写真を多く使い、児童の気づきを促したり、児童が活動へのイメージを持ったりできるようにしている。8点目、各社ともスタートカリキュラムを充実させており、絵本仕立てにしたり、イラストや挿絵を多用したりして、円滑に学習をスタートできるよう配慮している。
そのほか、構成・分量7点。表記・表現9点。使用上の便宜2点。各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮7点となっております。

ります。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、保育園、幼稚園との接続について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、掲載されている文字の量についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、生活の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問をお願いします。

橋本委員 生活科は1年生、2年生で行われる教科であり、小学校入学前に、遊びを通した総合的な指導により学んできた幼児期の学びや育ちを引き継ぐ、かなめとなる教科であると認識しています。

小学校入学当初は、生活科をスタートカリキュラムと編成し、なめらかな生活や学びの継続を促すと思いますが、各社ともに写真やイラストをととても多く用いて、子供たちが学習する楽しさ、味わい、これからの学校生活に期待感を持てるような工夫が各社してあります。

岩佐教育長 ありがとうございました。ほかにいかがですか。

眞貝委員 大日本図書、教育出版、光村図書は、教科書を開きますと、目次よりも先にまず、絵で始まっていて、小学校入学前に絵本に慣れ親しんでいた子供たちにしてみますと、とても学習に入っていくやすいと思います。東京書籍は保護者と一緒に開くことが前提であることが非常に特徴的だと思いました。

岩佐教育長 ほかにいかがですか。

伊藤指導室長 今回の学習指導要領の改定でも、各学校段階間の接続期の指導の重要性が示されているところです。発達段階に応じた教育を行うことは大変重要であると考えております。スタートカリキュラムの工夫について、特に生活科においてはポイントとなることであると考えております。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

進藤委員 子供の使いやすさと教員の指導のしやすさということなんですが、学習のしやすさ、子供たちの使いやすさという点では、私もまず思うのが、各社とも大きな写真やイラストが多く、子供たちが思わず見たくなるような誌面の構成だということです。生活科は気づきの質を高めていくこ

とが重要なポイントだと認識しております。写真やイラストにより子供たちの気づきを促していくきっかけになるような工夫が各社されているように思います。

教育出版の29ページには、小さいですが、江東区の防災袋の写真が掲載されています。細かくて字が読めないんですけど、多分、これが江東区の防災袋だと思います。

岩佐教育長 ありがとうございました。ほかにいかがですか。

鈴木委員 学校図書、光村図書、啓林館は、各单元ごとに学習の段階と「ホップ・ステップ・ジャンプ」や「わくわく、生き生き、ぐんぐん」のように、象徴的な言葉であらわして、子供たちが学習の見通しを持てるようにしています。また、教育出版は各ページの右端にヒントのコーナーを設けて、虫を見つける、比べるなど、子供たちの思考のスイッチとなるような工夫がしてあって、主体的に学ぶことができ、とてもいい教科書ではないかと思います。

岩佐教育長 ほかに。

橋本委員 生活科という教科が生まれてからしばらくたちますが、先生たちの中には教え方が難しいという声もよく聞こえてきます。子供たちの発想や実際の生活に基づいた体験などを大切にする部分がとても多くて、生活科の教科書には、ある程度の自由度や扱う教材の授業の進め方など、柔軟に対応できたほうがいいのかなんて思うこともあります。

その一方で、特に若手の先生たちなどは、教える方向性のようなものが示されていることがとても重要であるということも考えています。

岩佐教育長 バランスが大事だということですね。ほかに。

眞貝委員 私も橋本委員に同感でございます。自由度と先生たちの教える方向性が示されているところのバランスが大事なのではないかと、そういった意味では、教科書を開いたときの情報量、分量なども参考になるかと思います。生活科の教科書は、文字は人物の吹き出しになっている箇所が多く、先生の発問時や児童の発言時などの参考になるかと思います。学校図書や教育出版は文字が多過ぎず、バランスがよいのかなと思います。

岩佐教育長 ほかに。

進藤委員 先生たちの教えやすさという点では、教育出版の教科書は、各单元やページで身につける力が6つの視点で整理されていて、気づく、考える、

伝えるなど、わかりやすく示されております。この点は、先生たちにも子供たちにもとてもわかりやすいと思います。

活動だけがクローズアップされるのではなくて、学びがしっかりと押さえられると考えております。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかには。

鈴木委員 私も同感です。各社とも単元ごとやページごとなどに単元名や活動名、学習の目当てなどが示されていますけれども、その単元、ページでどのような力を身につけるかというところまで示しているのは教育出版の教科書だと思います。

そして、その力は今回の学習指導要領に示されている3つの資質、能力に基づいたものです。先生たちも何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるかというところまで、学習指導要領をしっかりと意識しながら授業が進められるものと思います。

また、この3つの資質、能力は、今後、評価の観点ともなるものだと思います。教育出版の教科書は、評価の観点としても活用しやすいものではないかと考えます。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。よろしいですか。

いただいた意見を整理しますと、スタートカリキュラムについて工夫があり、子供たちが学習に入りやすいこと。それから、子供たちが主体的に学ぶ工夫があり、身につける力が明確であること。教材の取り扱いの柔軟さと教員が教える方向性とのバランスが適当であること。この3つの理由から教育出版を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、生活については、教育出版を採択することといたします。

続いて、音楽について説明を願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、音楽の結果報告書をごらんください。

内容の選択、1点目、教育出版は「まなびナビ」という項目に学習ポイントが示されており、主体的な学びを引き出せる。2点目、教育出版は、体の動きを生かした学習活動が各学年に入れられている。3点目、教育芸術社は学習活動の手順を番号で示しており、児童みずから学習を進められるようになっている。4点目、教育芸術社は音楽を形づくっている要素を軸に、表現と鑑賞の領域の教材を関連させた題材で構成されている。

そのほか、構成・分量4点。表記・表現3点。使用上の便宜3点。各

学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、保育園、幼稚園との接続について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、共通教材についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。

眞貝委員 歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることは、子供たちにとって保育園や幼稚園などで小さいころから親しんでいる活動です。1年生が小学校の学習になれるためには、音楽の授業というのはとても重要だと思います。そういう観点で見てみたのですが、1年生の教科書の初めのページを見比べてみますと、どちらの教科書も動物が登場するかわいいイラストがあり、親しみを持って学習できるようになっていると思います。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

鈴木委員 巻頭にあるどちらの教科書のイラストも、それぞれ保育園や幼稚園など、一度は聞いたことのあるような童謡の一場面になっているようです。例えば、教育出版では「ちょうちょう」、「チューリップ」、「かえるの合唱」、「めだかの学校」など、一目で歌が思い出せる絵になっています。教育芸術社も「ぞうさん」や「こいのぼり」、「犬のおまわりさん」など、絵から歌が想像できる、どちらの教科書も子供たちが見つけた歌を友達に伝えることで対話的な学習が展開できそうな、よい教科書だと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにいかがですか。

橋本委員 教育出版は、単元の学習をする前に、童謡を歌ったり、音に合わせて動いたり、手遊びをしたりする活動のページがあり、合計で14ページぐらい使っています。一方、教育芸術社は、初めの活動から単元の1つとして構成されていますので、童謡を歌う活動の後に一緒に踊ったり、手遊びをする活動があり、導入の単元で6ページを使っています。続く単元は8ページを使って、リズム遊びの活動となっています。

どちらの教科書も保育園や幼稚園といったところで、音楽的な活動との接続が図りやすくなっていると考えます。

岩佐教育長 ありがとうございます。

保育園や幼稚園との接続について今、ご意見いただきました。音楽は2社ですので、子供の学びやすさ等を比較しながらご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

進藤委員 教科書の大きさに違いがありますね。教育芸術社は全学年A B判となっているのに対しまして、教育出版は低学年の教科書のみA B判となっていて、3年生から6年生まで、A B判より縦に大きくなっています。

大きくなっている分、1ページ当たりの情報量は多くなっていると私は思います。

岩佐教育長 そうですね。ほかには。

鈴木委員 報告書にあるとおり、どちらの教科書も主体的に学べる工夫がされている点がよいと思います。教育出版はコンパスのマークで示された「まなびナビ」という項目があります。4年生の教科書の29ページでは、旋律の特徴を生かして歌う活動が示されていますが、「歩きながら歌ってみよう」、「旋律の感じが変わるところを探してみよう」など、具体的な学習の流れが示されており、「おなかを使って歌おう」のように学習のポイントが示されています。

教育芸術社も学習の順序を数字で示しています。4年生の教科書24ページでは、「リズムの違いを感じとりましょう」、「リズムアンサンブルをつくりましょう」、「拍に乗って演奏しましょう」という活動を1から3まで、学習の手順が数字で示されていて、何をすればよいかわかりやすい教科書だと思います。

岩佐教育長 ほかには。

橋本委員 江東区では、ブラスバンドの活動が盛んな学校がものすごく多いのですが、それに関して、5年生の教科書ですけれども、オーケストラの学習ページを見比べてみてみますと、教育出版では28ページから31ページ、教育芸術社では26ページから29ページに、どちらの教科書もすごく大きく写真を掲載されていて、これは迫力が伝わってくるなど思っています。

岩佐教育長 ほかには。

眞貝委員 私は1年生の鍵盤ハーモニカの学習を見比べてみました。教育出版は32ページから39ページまでの8ページを割いてあり、教育芸術社は32ページから41ページまでの10ページを割いております。どちらの教科書も多くのページを使って大きな鍵盤ハーモニカの写真を掲載し

ていて、学びやすそうだと思います。

教育芸術社は風船を使って音の高さを示していて、1年生にとってはとてもイメージしやすいのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかには。

進藤委員 鍵盤ハーモニカ同様に、リコーダーも全員が学習する楽器だと思うんです。3年生のリコーダーの学習のページを見ています。教育出版は18ページから、教育芸術社は22ページからです。どちらの教科書も鍵盤ハーモニカ同様に、リコーダーも多くのページを割いています。どちらも教科書の端に大きくリコーダーのイラストが示されていて、このイラストを比べると、教育芸術社のほうが、あける、とじるの指示が最後まで明確に示されていて、初めてリコーダーを学習する児童にとっては使いやすいのではないかと考えております。

岩佐教育長 ほかには。

橋本委員 私は鑑賞の学習に注目をしました。報告書にも書かれていると思うんですけども、教育芸術社は、歌や楽器で表現する活動と鑑賞の活動の関連がわかりやすく示されています。

例えば、4年生の32ページを見ますと、「旋律の特徴を感じとろう」という単元では、「旋律の特徴」という言葉で演奏、歌、鑑賞が関連付けられています。わかりやすい言葉で書かれているので、子供たちにも関連を意識して学習できると思います。主体的な学びという意味では、とてもよい工夫だと思います。

岩佐教育長 子供の学びやすさなどについて、教科書の体裁、あるいは、イラスト、写真などについて、さまざまな角度から意見をいただきました。音楽では、必ずその学年で学習する共通教材というものが示されているわけですが、各社の共通教材の扱いについて、もしありましたら、ご意見いただければと思います。

眞貝委員 3年生の共通教材である「富士山」を見比べてみましたが、どちらの教科書も大きな写真を掲載しております。教育出版は折り込みページを使って、富士の裾野が広がっている様子がよくわかります。教育芸術社は、より富士山をクローズアップしていて、富士の雄大さが伝わります。どちらの教科書も子供がイメージを膨らませて歌うことができると思います。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

鈴木委員 大きな写真以外にも教育出版は湖に映る富士の様子や赤富士の写真が掲載されています。教育芸術社はさまざまな場所から見た富士山が掲載されています。

教育芸術社のほうがさまざまな富士の姿が掲載されていて、よりイメージがわきやすくなっているのではないのでしょうか。

進藤委員 教育出版では、富士山は独立した教材として扱っており、前後の単元との関連づけはありません。それに対して、教育芸術社は、「旋律の特徴を感じとろう」という1つの単元の中の学習として組み込まれて、関連が図られております。この教材に限らず、先ほどの鑑賞の学習でもご意見がありましたが、教育芸術社のほうが教材間の関連が明確で、計画的な学習が図りやすいので、指導しやすいのではないかと私は思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。よろしいのでしょうか。

これまでいただいた意見を整理しますと、保育園、幼稚園との接続がスムーズに図れること。それから、子供たちが主体的に学習するための工夫があること。それから、教材間の関連が図られていて、系統的学習ができること。以上、3つの理由から、教育芸術社を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、音楽については教育芸術社を採択することといたします。

続いて、図画工作の結果報告をお願いします。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、図画工作の結果報告書をごらんください。

内容の選択、1点目、開隆堂出版は児童に身につけさせたい力を学習の目当てで3つのキャラクターとして示し、主体的な学習が促せる内容になっている。2点目、開隆堂出版は各学年の巻末、造形の引き出しに形や色などの造形的要素や表現技法の事例、材料、用具の知識が示されている。3点目、日本文教出版は主体的な学習を促すために、キャラクターが造形的な見方・考え方に基つき、吹き出しを用いて活動のヒントを伝えている。4点目、日本文教出版は、「使ってみよう、材料と用具」のコーナーで色の扱い方や材料、用具の具体的な使い方について解説されている。

そのほか、構成・分量4点。表記・表現5点。使用上の便宜5点。各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮4点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、安全面の配慮について、

3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、オリンピック・パラリンピックに関連する教材についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、図画工作の結果報告につきまして、ご意見、ご質問をお願いいたします。

橋本委員 私は今、5年生、6年生の上巻を見ています。開隆堂出版の22ページ、それから、日本文教出版の30ページは、どちらも針金を用いた制作についての単元となっております。どちらも学習の目当てが3つ記載されており、この単元で何を学ぶのかはっきりと示されています。

開隆堂出版では、特に重視したい目当てについて、赤い文字で下線を引いて強調しているのがとてもいいと思っています。また、ページの下の方に振り返りの視点についても示されており、開隆堂出版はカエルのイラストとともに質問形式になっており、日本文教出版は「芽」、芽生えるの「芽」のイラストとともに、具体的な感想を示しています。開隆堂出版のような質問形式だと、子供たちが授業を振り返る際にとってもいいかなという感じに思っています。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。

眞貝委員 橋本委員がお話しされたページを見ますと、使用する道具についての記載もあり、各単元で使用する道具について開隆堂出版はページの上部にイラストと文字で、日本文教出版はページの角にイラストのみで示されています。子供たちにはイラストと文字で示している開隆堂出版のほうがわかりやすいのではないかと思います。

進藤委員 私は1、2年生上の教科書を見ています。開隆堂出版の8ページ、9ページ、日本文教出版の18、19ページには粘土を使用した制作について掲載されています。どちらも子供の活動の様子や制作物の写真が多く掲載されていて、子供たちの制作意欲が高まる内容だと感じました。

合わせて、片付けについての記載があり、日本文教出版は「片付け」として各単元のページに文章で片付け方について示し、開隆堂出版は片付け方について写真を掲載しながら説明しています。低学年の子供たちにとっては、開隆堂出版のように文章だけではなく、写真もあると片付け方がわかりやすく、みずから道具の片付けを行うなど、主体的な活動ができるのではないのでしょうか。

岩佐教育長 ほかに。

鈴木委員 どちらの教科書も巻末で道具の使い方について、イラストや写真を合わせて示しています。両者とも1、2年生上の巻末に掲載されているはさみの使い方では、左きき用のはさみの使用についても掲載されているなど、左ききの子供たちへの配慮がなされている点がいいなと感じました。その他の学年についても、巻末に安全面への配慮事項について記載があるようなので、先生方にはこういったページを活用して、子供たちが安全に造形活動に取り組めるような指導をしてほしいと思っています。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

橋本委員 今、おっしゃられた安全面ですけれども、子供たちが楽しく造形活動とか、ほかにもいろいろな道具を使っていくと思うんですが、安全に関する指導は必須だと思っています。開隆堂出版3年生、4年生の下巻、43ページ、それから、日本文教出版3年、4年の下、55ページに彫刻刀を使用するところが出ています。彫刻刀で1回は指を切った経験もあるかと思うんですが、道具を使うときには、ものすごく気をつけて、安全ということを第一に気をつけてやっている教科書は素晴らしいと思っています。

開隆堂出版は「安全」として、日本文教出版は「気をつけよう」として表記されております。開隆堂出版は写真やイラストとともに示している箇所があり、文章だけの記載よりも、視覚的に理解を深めることができます。子供たちが安全に注意しながら活動することが大事だと思っています。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかには。

鈴木委員 安全面という視点からは離れますけれども、開隆堂出版の5、6年上の45ページには、本区の小学校の、図工の授業の様子が記載されています。オリンピック・パラリンピックにかかわる題材で、私たちの住む東京都江東区でも開かれる東京オリンピック・パラリンピックといった記述もあり、江東区の子供たちにとっては興味がわく内容ではないかと思います。

岩佐教育長 ほかにありますでしょうか。

眞貝委員 私もただいまの鈴木委員に同感でございます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が終わった後も活用できる題材だと思います。教科書の構成という点で教科書を見ますと、どちらの教科書も作品や制作手順の写真を多く掲載してあること、子供たちの創造性を引き

出すように工夫されております。

掲載写真の数は日本文教出版のほうが多いように感じます。しかしながら、文章とイラストや写真を組み合わせ、注意事項などを示している点について、開隆堂出版のほうがよく工夫されていると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。

それでは、いただいた意見を整理しますと、子供たちの主体的な活動を促すための視覚的な工夫があること。それから、安全面の配慮についての記載が充実していること。子供たちの興味、関心を高める題材が充実していること。

以上、3つの理由から開隆堂出版を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ありませんので、図画工作については開隆堂出版を採択することといたします。

それでは、続いて、家庭の結果報告について説明をお願いします。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、家庭の結果報告書をごらんください。

内容の選択、1点目、東京書籍はステップの初めに学習の目当て、終わりに振り返りを設け、スモールステップでの定着を図り、次の課題へ進んでいる。2点目、東京書籍は学習指導要領で新設された内容A(4)、課題と実践について、生活を変えるチャンスとして5つの課題例を掲載している。3点目、開隆堂は冒頭に2年間の家庭科学習における4つの視点が四つ葉のクローバーのイラストとともに示されている。4点目、開隆堂出版は、学習指導要領で新設された内容A(4)、課題と実践について、「レッツトライ 生活の課題と実践」として、3つの課題例を出している。

そのほか、構成・分量4点。表記・表現5点。使用上の便宜4点。各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮4点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、安全面の配慮について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、新たに加わった指導内容についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、家庭の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問をお願いします。

進藤委員 教科書の大きさですが、東京書籍がA4判、開隆堂出版がA5判で、東京書籍が開隆堂出版よりサイズが大きいです。今、東京書籍の64ページ、開隆堂出版41ページを見えています。「ミシンを使ってみよう」というページです。安全に正しく、効率的にミシンを使うためには、扱い方がわかりやすく示されていることが大切だと思います。

2社ともミシンの各部の名前について示してあります。東京書籍は、教科書のサイズが大きい分、ミシンを開隆堂出版よりも大きく掲載していて、部品の名前も多く書かれていて、大変わかりやすいのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございました。
ほかにはいかがですか。

橋本委員 家庭科は実践的な活動を通して学ぶことがとても大切だと思っています。ほかの教科と同じように、子供たちが目当てを持ったり、見通しを持ったりするなどして、課題に取り組むことが重要だと思っています。

先ほどの報告書にもありましたが、東京書籍は単元を3つのステップに分けて考えています。子供たちが見通しを持って学べます。また、先生方にとっての支援、各校には必ず家庭科を専門とする先生がいないと聞いております。若い先生も増えておりますので、3つのステップはそういった形ではとても大切なことであると思っています。

一方、開隆堂出版も単元ごとの目当て、振り返りが示されていて、子供たちが主体的に学べるように工夫されています。

そんなふうを考えていました。

岩佐教育長 ありがとうございました。ほかには。

眞貝委員 私は安全面の配慮という視点で教科書を見ました。東京書籍では、巻末の143ページに、開隆堂出版は6ページに安全に実習しようというテーマを示し、掲載してあります。

2社とも調理をする際、また、制作をする際の注意点や、地震が起こったときの注意点についても詳しく書かれております。

東京書籍は、手の洗い方を写真つきで具体的に示してあったり、イラストを多く用いたりするので、子供たちにとってはとてもわかりやすいのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかには。

進藤委員 私は調理実習をする上で安全面について教科書を見えています。

東京書籍の18ページ、開隆堂出版の14ページを見ていますが、2社とも青菜のおひたしとゆでイモの調理例が記載されております。どちらの教科書とも調理をしている写真やイラスト、説明がわかりやすく掲載されています。そして、安全面についても、2社とも安全マークを示し、子供たちにとっても見やすい工夫をしているのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかに。

眞貝委員 私もそれぞれ進藤委員と同じページを見ておりました。
青菜のおひたしを調理する際の注意点として、東京書籍は、青菜の根本は土などの汚れがついているので、しっかり洗うことを挙げております。開隆堂出版については特に書かれておりませんが、しかしながら、開隆堂出版は同じページに包丁の持ち方や取り扱い方などが示されております。東京書籍では、同じように包丁の取り扱い方については、前の17ページに掲載されており、開隆堂出版より多くの紙面を使って掲載されていて具体的だと思います。
それぞれ掲載の仕方にはとても特徴があると思いました。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかにはいかがですか。

鈴木委員 先ほどの報告の中で、学習指導要領において新設された、子供たちが日常生活の中から問題を見出して学ぶ教材について、どちらの社も取り上げているということですが、具体的に事務局からご説明をお願いいたします。

伊藤指導室長 家庭科の指導内容の3つの枠組みがあるんですが、A家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の中の、A家族・家庭生活の4番目の項目として新たに示された内容です。
子供たちが日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、よりよい生活を考えたり、計画を立てて実践したりすることをねらいとしています。
取り扱い方としてですけれども、2学年間で1つまたは2つの課題を設定することとなっております。教科書をごらんいただきますと、東京書籍は目次の1ページ、ピンク色の楕円で示されているんですが、「生活を変えるチャンス！」として示されたページがございます。また、開隆堂出版につきましては、76ページから79ページに記載があります。

岩佐教育長 鈴木委員、よろしいですか。

鈴木委員 ありがとうございます。

今、ご指摘いただいた開隆堂出版の76ページから、「レッツトライ生活の課題と実践」を見ています。開隆堂出版は、このページから4ページにわたって課題例を3つ示しています。そして、東京出版は、「生活を変えるチャンス！」として課題例を5つ示しています。

課題例が多いほうが子供たちが実生活で活用する上で有効だと思いますので、私は東京書籍がいいのではないかと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。

ほかには。

橋本委員 私も今、同じところを見ておりますけれども、特に東京書籍の128ページ、開隆堂出版の79ページを見比べております。2社ともお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるための会を開こうというテーマで記載されているページです。

2社とも実践の進め方を5つのステップで構成されております。東京書籍は、会を開く際の実践例として、サンドウィッチをつくりお客様をもてなそうという簡単なつくり方を示しています。開隆堂は調理例までは掲載していません。

また、東京書籍は、ページの最後の部分に課題例が2つ載っており、特にふるさとの味を伝えようということで、お呼び出しした地域のお客様から逆に郷土料理について教えてもらったという感想例が記載されています。広がりのある学習が展開できそうな感じがすごく考えられております。

そういった視点から、東京書籍がよいのではないかなと思っています。

岩佐教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。

それでは、これまでの意見を整理しますと、子供や教員にとって使いやすい内容であること、安全面の配慮と新たに加わった内容についての記載が充実していること、以上2つの理由から、東京書籍を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、家庭については東京書籍を採択することといたします。

続いて、保健の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、保健の結果報告書をごらんください。

内容の選択。1点目、東京書籍は、ステップ1から4の順に、気づく、見つける、調べる、解決する、深める、伝える、まとめる、生かすの学習段階が示されている。2点目、大日本図書は、全ての章の初めに学習ゲームが掲載され、児童が学習の課題に気づくような工夫がされている。3点目、文教社は、考えてみよう、やってみよう、振り返ってみようという発問によって学習を進められるようになっている。4点目、光文書院は、初めに調べよう、話し合おう、考えようの欄があり、主体的な学習が促される展開になっている。5点目、学研教育みらいは、学習の内容をここで学ぶこと、つかむ、考える、調べる、まとめる、深めるで構成しており、課題解決的な学習が進められるようになっている。

そのほか、構成・分量5点、表記・表現6点、使用上の便宜6点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として5点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、学習の進め方について、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、江東区にかかわることについてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、保健の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問をお願いします。

橋本委員 保健の学習では、子供たちが体や心の健康などについて学ぶと認識しています。子供たちが学習の進め方を理解し、見通しを持って学ぶこと、学習課題を自分のこととして捉え、主体的に学べる教科書が一番よいのかと思っています。

東京書籍、文教社、光文書院、学研教育みらいは、学習の筋道がわかりやすく示されており、また、東京書籍、大日本図書、学研教育みらいは、子供たちが課題を把握し、主体的に学べる構成になっていると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。
ほかには。

眞貝委員 心の健康という点では、5年生で学ぶ心の健康という単元がポイントになると思います。思春期を迎える子供たちは、友達のこと、勉強のこと、家族のことなど、さまざまな不安や悩みを抱え日々生活していると、悩んでいるのは自分だけではないこと、心の不安を取り除いてリラックスする方法など、各社ともに記載されている点がよいと思います。

また、学研教育みらいには、自分のよいところやいじめに関わること

について考えさせる欄が設けられていて、ぜひ子供たちに考えてもらいたい内容だと思います。

岩佐教育長 ほかには。

進藤委員 私も眞貝委員に同感でございます。昨年度の全国学力学習状況調査結果だったでしょうか、国や都と比べると、江東区の子供たちの自己肯定感はやや低い傾向にあると伺っております。5年生のこの時期に改めて自分のよさについて考えたり、不安や悩みへの対処方法を知ったりすることは大切なことだと思います。自分のよいところについて考えさせる学研教育みらいの教科書がよろしいのではないかと考えております。

鈴木委員 子供たちに考えてもらいたい内容として、交通事故の防止も挙げられると思います。今年度に入ってから痛ましい事故のニュースを聞く機会は大変多くあります。もちろん子供たちだけで解決できる問題ではないんですが、どうしたら防止できるか改めて考えてほしい内容です。

交通事故防止に向けた取り組みとして、学校ではどのような指導をしているのかお伺いいたします。

伊藤指導室長 小学校では、子供たちの危険を予測し、回避する能力の育成を図るために、保健での安全学習などに関連を図りながら、安全指導として登下校時の安全や自転車の安全な利用等について全校で指導をしております。

また、警察署や消防署と連携し、体験的に学ぶ機会といったものを設けている学校も多くなっております。

鈴木委員 5、6年生の教科書を見ますと、各社ともに交通事故防止だけでなく、発展的な内容として、自然災害から身を守ることも示されているようです。日々の生活と関連づけて子供たちが考えることができるよう工夫をされている点がよいと思います。

岩佐教育長 今、子供たちが学習の道筋を理解して、主体的に学べる教科書、心の健康、そして交通事故の防止など、子供たちに学んでほしい内容が掲載されている教科書についてご意見をいただきました。

そのほか、ご意見ございますでしょうか。

進藤委員 先ほどの子供たちが主体的に学んだり、学びを深めたりするという点では、掲載されている写真や資料は重要だと思います。また、写真や資料は、子供たちの興味、関心を高めるとともに、多様な考え方を引き出すヒントになると考えています。

先生方にとっても良質な資料が掲載されていると指導しやすいのでは

ないでしょうか。そういった点では、東京書籍や学研教育みらいの教科書がよいかと考えております。

岩佐教育長 ほかには。

橋本委員 写真や資料という点では、江東区に関する記載が東京書籍と学研教育みらいにあると報告書に書いてあります。ちょっとわかりづらいかもしれないですけれども、改札口の写真とかが載っております。

子供たちにとって身近なことが教科書に載っているということはどういうことかだと思います。子供たちの興味、関心を高めることにつながる工夫ではないかと考えます。

総ページ数を見ますと、東京書籍は81ページ、他社は60ページ前後になっていて、若干厚みがあると感じられます。学研教育みらいは57ページでまとめてあり、掲載されている資料も充実しているので、私は学研教育みらいがよいと考えます。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

それでは、これまでいただいた意見を整理します。学習の進め方がわかりやすく、子供たちの主体的な学びが期待できること、そして、写真や資料などの教材が充実していて、子供たちの学びの深まりが期待できること、この2つの理由から、学研教育みらいを採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ありませんので、保健については学研教育みらいを採択することといたします。

続いて、英語の結果報告書について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、英語の結果報告書をごらんください。

内容の選択。1点目、東京書籍は、各単元末にさまざまな異文化情報を掲載しており、日本や世界のことについて好奇心を持たせるよう工夫している。2点目、開隆堂出版は、各単元末に振り返り欄を設け、どのようなことを学び、身につけたのかを振り返ることができるようにしている。3点目、学校図書は、教科書の初めにプレッスンとして既習事項の確認ができるようになっており、単元ごとに繰り返し新出表現が書かれている。4点目、三省堂は、自分の学びを振り返るCAN-DOリストがついており、児童ができるようになったことを把握できるようになっている。5点目、教育出版は、各単元にLet's Think、考えてみようコーナーを設け、問題解決的な学習を取り入れている。6点目、光村図書出版は、全ユニットにレスポンスコーナーがあり、具体的にどう応答するかイラストで示している。7点目、啓林館は、最初の

単元がプレユニットとして始まり、全学年の内容を復習できるようになっている。

そのほか、構成・分量7点、表記・表現8点、使用上の便宜7点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮7点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、英語スタンダードについて、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、英語の指導内容についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、英語の採択資料作成委員会結果報告について、ご意見、ご質問をお願いいたします。

鈴木委員 調査研究結果についてご説明いただきましたが、小学校において教科としての英語指導がいよいよ始まるということでございますが、改めて指導学年や指導時数について、事務局から説明をお願いいたします。

伊藤指導室長 来年度から新学習指導要領が全面実施となります。英語科につきましては、5、6年生が年間70時間学習することとなります。週当たりでは2時間となり、聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くことについて学習することとなります。

鈴木委員 ありがとうございました。

5、6年生で教科化されるということで、これまでも子供たちは外国語活動として英語を学んできたわけですが、教科化された後も英語によるゲーム、歌などさまざまな活動を通じて楽しみながら英語を学んでほしいと思います。

岩佐教育長 楽しみながら学ぶということは大事なことです。ね。
ほかにいかがですか。

橋本委員 巻末のページを全部見ているんですけども、書くことに役立つアルファベットの表やローマ字表を掲載することが各社書いてあります。教材が準備されていることが子供たちにとってはとても心強いのではないかと思います。

東京書籍、開隆堂出版、教育出版、光村図書出版、啓林館の5社は、イラストつきの単語カードがついています。これはかなり使いやすいのではないかなと思います。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

進藤委員 巻頭には、各社ともに教科書の使い方などが示されており、学習の進め方がわかるようになっております。

東京書籍は、学年ごとにテーマを設けていて、この教科書でどんなことを学んでいくのかわかりやすい構成になっております。三省堂は、HOP、STEP、JUMPを一まとめにする構成になっていて、HOPで学びの見通しを持てるようにして、とてもよいのではないかと考えております。

岩佐教育長 ほかには。

橋本委員 ちょっと後先になってしまったんですが、大きさのことについて見てみたんです。他教科と同じように教科書の大きさなどをとても大切に私は思っているんですが、東京書籍と学校図書はA4判で、他社はA B判になっております。

学校図書、開隆堂出版、光村図書出版は、他社に比べてちょっと厚いような感じがいたします。内容は大切ということが大前提ですが、英語はちょっと入りにくいところからなので、薄いほうがいいのかななどと、ちょっと大きさと厚みにこだわってみました。

岩佐教育長 ありがとうございます。

先ほど話が出ていましたが、英語が教科化されるようなところまできて、教科書が作成されたわけですけれども、各社ともにさまざまな工夫が見られると思います。

さて、小学校に英語が導入される趣旨の1つとして、中学年までに英語になれ親しみ、英語への動機づけを高めた上で、高学年から段階的に文字を読むこと、書くことを加えて、総合的に教科学習を行うことが示されたところでございます。

そうした意味で、各教科書の内容はどうでしょうか。そこら辺、少しご意見をいただけたらと思います。

眞貝委員 資料5、教科書調査結果資料を見ますと、発行者ごとに、聞くこと、読むことなど5つの領域別に設定している活動の数がわかります。

三省堂は、話すこと、やりとりの領域の割合が40%で高いことがわかります。子供たちは5つの領域について総合的に学ぶこととなりますけれども、話すこと、やりとりは英語スタンダードから見ても大切にしたい領域です。その点からも三省堂の教科書の内容はよいと考えております。

岩佐教育長 ほかにいかがですか。

橋本委員 私もそう思うんですが、やはり書くことも大切ですが、話すことがとても大切になってくるかと思えます。今年度から学びスタンダードには英語スタンダードというのが入ってきます。英語でやりとりをしますという項目が加わりました。江東区の英語教育では、英語によるコミュニケーション能力の向上というのがとても大切になってくることになっております。英語スタンダードの指導を充実させるという観点から見て、私は三省堂がよいと思えます。

岩佐教育長 ほかにいかがですか。

鈴木委員 私は英語スタンダードの「英語で将来の夢を話します」の視点から教科書を見ています。このスタンダードは、中学校のスタンダードにはない小学校独自の英語スタンダードになっています。全社とも6年生の後半のページに、将来の夢について扱っています。将来の夢を発表しよう、伝えようというテーマで、それぞれ発行者がさまざまな題材を使い、工夫が見られます。例えば東京書籍の76ページでは、夢宣言カードでスピーチをしようとして、巻末にあるカードを使って、友達に夢を宣言するという活動例が示されています。非常に楽しい活動だなと思えます。

岩佐教育長 ほかにいかがですか。

眞貝委員 私も6年生の将来の夢のページを各社見てみましたがけれども、多くの社は将来の夢について、教科書に実際に英語で書いて友達に伝えたり、発表したりしてみようとしております。

しかし、三省堂の6年生の100ページを見ますと、三省堂は将来つきたい職業と理由を伝えて、動画を撮影しようとかかれてあります。ほかの社にはない特徴があると思えます。

前の99ページには、発表会に向けての注意点なども詳しく書かれていて、6年生のまとまった学習として、ぜひ本区の子供たちにタブレットを使ってこの活動をしてもらいたいと思っております。英語スタンダードが身につくという視点からも、江東区で学ぶ教科書は三省堂がいいと考えております。

岩佐教育長 ほかに。

進藤委員 東京書籍は、別冊として辞書のように使えるピクチャーディクショナリーがあるのが特徴だと思います。ほかの社では、別冊ではなくて、教科書の巻末に掲載されてあります。別冊ではなく、教科書の中に示され

ているほうが便利だと思います。中でも三省堂では、5年生、6年生両方の教科書の後ろのページに約20ページにわたってさまざまな英語の単語がイラストつきで掲載されています。ですので、私も三省堂がよろしいかと思っています。

岩佐教育長 よろしいでしょうか。今、ご意見を伺っていますと、学習の進め方がわかりやすく、教材が充実していること、話すこと（やりとり）の活動が充実していて、子供たちのコミュニケーション能力の向上が期待できること、そして、英語スタンダードの確実な定着が図られること、この3つの理由で三省堂を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

岩佐教育長 ご異議ございませんので、英語については三省堂を採択することといたします。

最後に、特別の教科道徳の結果報告について、説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、特別の教科道徳の結果報告書をごらんください。

内容の選択。1点目、東京書籍は、気づく、考える、話し合う、振り返る、見つめる、生かすで授業が構成されている。2点目、学校図書は、気づきで気づいたことを学びで議論し、深めるよう2冊構成になっている。3点目、教育出版は、学習の視点、導入の問いかけ、教材文、学習用手引き、終末となっている。4点目、光村図書出版は、道徳の時間だけで学びが終わらないよう、つなげようのコーナーで問いかけされている。5点目、日本文教出版は、情報モラル、人との関わり、持続可能な社会、安全な暮らしについて目次に網かけで記している。6点目、光文書院は、各教材の最初に考える視点を示す問いかけの文がある。7点目、学研教育みらいは、4種類の学び方のページ、深めよう、やってみよう、つなげよう、広げようがあり、多様な学びにつながる工夫がされている。8点目、廣済堂あかつきは、各教材に考えよう、話し合おうを設け、主体的、対話的で深い学びを促す工夫がされている。

そのほか、構成・分量8点、表記・表現9点、使用上の便宜8点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮8点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、道徳のことについて、3点目、子供の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、学習の進め方についてなどとなっております。

以上です。

岩佐教育長 それでは、特別の教科道徳の採択資料作成委員会結果報告について、

ご意見、ご質問をお願いします。

眞 貝 委 員 前回の特別の教科道徳の採択から2年ということですが、各社の教科書の変更点はございましたでしょうか。

伊 藤 指 導 室 長 前回の採択と今回の採択の発行者に変更はございません。
また、教科書の大きさや別冊の道徳ノート等の有無についても変更はありません。
扱う教材や教員の発問例については変更している発行者がございます。

岩 佐 教 育 長 よろしいですか。

眞 貝 委 員 指導室長のご説明、よくわかりました。扱う教材などは変更があるものの、発行者は変わっていないということでした。
それでは、現在使っている教科書は日本文教出版ということですが、前回の採択理由について確認をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

伊 藤 指 導 室 長 前回、本委員会での採択の理由については、6点ございました。1点目、教科書の大きさが適切であること、2点目、分冊になっているノートが活用できること、3点目、教材や挿絵に工夫があること、4点目、いじめや情報モラルに関わる内容が充実していること、5点目、子供たちの主体的な学びが期待できること、6点目、江東区との関わりがあること。
以上でございます。

岩 佐 教 育 長 それでは、ご意見をよろしくお願いいたします。

進 藤 委 員 前回の採択理由にもありますが、道徳が特別の教科となった理由の1つでありますいじめや情報モラルの扱いは重要だと考えております。
資料3の教科書調査研究資料を見ますと、日本文教出版と光文書院は、いじめや情報モラルに関する教材を多く取り上げていることがわかります。1年間当たりで見ますと、いじめについて、日本文教出版は約9回、光文書院は7回、情報モラルについては、2社とも約2回となっております。繰り返し学ぶことでいじめを許さない心や情報を適切に扱う態度が子供たちに育つと私は考えております。

岩 佐 教 育 長 ほかにはいかがでしょう。

鈴 木 委 員 江東区に関する記述についてですが、子供たちにとって江東区のこと

が書かれていることにより、身近に教材を捉えることができていると思います。

東京書籍は、3年生の140ページに江東区の祭りについて、教育出版、日本文教出版、光文書院では、伊能忠敬について、学研教育みらいにはジョン万次郎についての記載があります。

また、日本文教出版、6年生の教科書には、夢の島競技場や本区のオリンピック・パラリンピック教育での講師が掲載されています。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

橋本委員 指導のしやすさについてですが、先生方が指導しやすいという点では、学校図書、日本文教出版、廣済堂あかつきのようにノートがついている教科書がよいのではないかなと思います。

先生方にとっては、毎時間ワークシートを準備する必要がなくなり、評価するときも子供たちの思いや考えが記されたノートを使うことで有効ではないでしょうか。子供たちにとってもノートは学びを振り返るときにとっても活用しやすいということで、分冊になっているのが非常にいいかなと思っています。

眞貝委員 私もやはりノートがあったほうがよいと考えております。別冊としてノートがない教科書の中でも、東京書籍、光村図書、光文書院は、巻末などに毎時間の振り返りができるように工夫されております。

しかしながら、子供たちが授業の中で何を考えたか、議論をどのようにしたかということを考えますと、やはりノート形式で残っているものがよいのではないのでしょうか。

岩佐教育長 ほかに。

鈴木委員 3社の道徳ノートを比べてみますと、廣済堂あかつきと学校図書は、それぞれ内容、項目ごとに書くようになっていますが、日本文教出版は教材ごとに書けるようになっています。1時間の学習の中で先生が学びを見取り、子供たちが振り返りをしやすい点から、日本文教出版がよいと思います。

岩佐教育長 ほかに。

進藤委員 私も日本文教出版がよいと考えております。資料5の調査部会の資料から、先生方の声として、前回の道徳ノートと比べると、付箋やワークシートを張るなど、工夫ができる幅が広がり、より使いやすくなったのだと思っています。

岩佐教育長 ほかにはいかがですか。

橋本委員 子供たちが主体的に学べること、先生方が指導しやすいこと、それから、ノート、題材の改善が見られること、日本文教出版さんを見てみるんですが、かなりノートがよくなっているなど思いました。

引き続き、日本文教出版がよいと私は考えます。

岩佐教育長 それでは、今、いただいた意見を整理しますと、いじめや情報モラルについて考える教材が充実していること、子供が使いやすく、教員が指導しやすいこと、そして、分冊になっているノートが活用でき、子供の振り返りや教師による評価に活用できること、以上3つの理由から、日本文教出版を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

岩佐教育長 ご異議ございませんので、特別の教科道徳については日本文教出版を採択することといたします。

それでは、令和2年度より小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科書採択の採択結果を確認したいと思います。事務局よりお願いいたします。

伊藤指導室長 では、私のほうから、本日の審議で採択を決定した教科用図書について、教科名、発行者名を確認させていただきます。

国語、光村図書出版、書写、光村図書出版、社会、東京書籍、地図、帝国書院、算数、東京書籍、理科、大日本図書、生活、教育出版、音楽、教育芸術社、図画工作、開隆堂出版、家庭、東京書籍、保健、学研教育みらい、英語、三省堂、特別の教科道徳、日本文教出版。

以上、各教科用図書の採択結果について、確認させていただきました。

岩佐教育長 ただいまの各教科の採択結果について、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

岩佐教育長 ご異議ありませんので、令和2年度より使用する小学校及び義務教育学校前期課程の教科書について、このように決定いたします。

以上で小学校教科用図書採択に係る傍聴案件の審議が終了しましたので、本案件の傍聴を希望された傍聴人の方は、事務局の職員がご案内いたしますので、ご退室願います。

なお、小学校教科用図書採択以外の案件についても傍聴を希望される傍聴人の方は、引き続き傍聴してください。

それでは、これより報告事項に入ります。報告事項1、改築・大規模改修等工事期間中の学校移転先についてを事務局より説明願います。

谷川学校施設課長 それでは、資料9をごらんください。

黒い四角の1番目、第二大島中学校ですが、令和2年から令和4年度にかけて改築工事を予定しております。工事期間は、令和2年7月から令和4年6月末にかけて実施しまして、学校の移転期間につきましては、令和2年7月の夏休みに移転し、令和4年7月の夏休みに戻る予定です。移転先につきましては、大島仮校舎で、徒歩による通学を予定しております。

次に、2番目の南砂中学校になりますが、令和2年から令和3年度にかけて大規模改修工事を予定しております。工事期間は、令和2年7月から令和3年6月末にかけて実施しまして、学校の移転期間は、令和2年7月夏休みに移転し、令和3年7月の夏休みに戻る予定です。移転先につきましては、南砂仮校舎で、徒歩による通学を予定しております。

次に、3番目の数矢小学校になりますが、令和3年から令和4年度にかけて収容対策による増築工事と既存校舎の大規模改修工事を予定しております。工事期間は、令和3年7月から令和4年7月末にかけて実施しまして、学校の移転期間は、令和3年7月の夏休みに移転し、令和4年7月の夏休みに戻る予定です。移転先につきましては、南砂仮校舎でスクールバスによる通学を予定しております。

私からの説明は以上です。

岩佐教育長 それでは、本件について質疑を願います。

鈴木委員 3校の改築・大規模改修ですが、数矢小学校だけは増築と入っております。これによってクラスと人数がどのように変わるのか教えてください。

谷川学校施設課長 数矢小につきましては、現在23学級規模の学校になってございますが、増築することによりまして、29学級まで増設していきます。現在は20学級となっております、636名の在校生でございますが、今後の推計でいきますと、1,000名規模の学校になっていくと予想されています。

以上です。

岩佐教育長 よろしいですか。

鈴木委員 結構です。

岩佐教育長 ほかには。よろしいでしょうか。

それでは、本報告を終了いたします。

続いて、報告事項2、「江東区放課後子どもプラン」事業の実施についてを事務局より説明願います。

池田地域教育課長 私からは、「江東区放課後子どもプラン」事業の実施についてご説明いたします。資料10をごらんください。

区の放課後事業の方針につきましては、平成31年3月、江東区放課後子どもプランとして新たに取りまとめたところがございますが、このプランに基づく事業を令和2年4月実施に向けて、現在検討を進めておりますので、本日現時点におけるその内容をあらかじめご説明させていただきます。

まず1番の名称の整理です。現在、区の放課後事業としましては、小学校で実施する「きっずクラブ」、そして児童館などで実施する「学童クラブ」、その2つの事業形態がございます。

一方で、区の方針といたしまして、平成21年、放課後児童の主たる居場所、こちらは家庭のほか、小学校と位置づけ、順次、小学校内にきっずクラブの整備を進め、昨年度、全小学校、義務教育学校に整備が完了したところです。

また、きっずクラブには、ご案内のとおり、A登録、B登録の2種類がありますが、このうちB登録は学童クラブと同一の事業を行っております。

これらのことを踏まえ、区の放課後事業を「きっずクラブ」と総称する予定ですので、「学童クラブ」の名称につきましても「きっずクラブ」に変更する検討を進めております。

具体的には、現在、南砂児童館の1室で実施している南砂学童クラブは、きっずクラブ南砂児童館に、単独施設として運営している豊洲三丁目学童クラブはきっずクラブ豊洲三丁目となります。

なお、小学校で実施しているきっずクラブは、現在の名称のまま変更の予定はございません。

次に、2番の実施事業の概要の予定です。まず、(1)のA登録の利用時間の検討条件についてです。A登録は、放課後子ども教室とありますように、その目的は小学校全ての児童を対象に、放課後、安全・安心な活動拠点を設け、学習やスポーツ、文化活動などの機会を提供する取り組みを行っております。活動場所としましては、小学校ではありますが、その役割や機能は児童館に準じております。そのため、この事業趣旨を踏まえ、利用時間がこれまで、学校授業日は放課後から18時まででありましたものを児童館で行っている帰宅指導時間を考慮し、放課後から17時までとする予定です。

なお、夏休みなどの学校休業日については、開始時間も児童館などに合わせ、これまで8時半から18時まででありましたものを9時から1

7時と変更する予定です。しかし、A登録利用者においても、保護者の就業はもとより、疾病、その他、突発的な事業に合わせた育成時間の延長の必要性もございますので、後ほどご説明するB登録と同様の時間を一時的に利用できるスポット利用を導入し、弾力的な対応を図ってまいります。

2ページ目をごらんください。(2)のB登録の利用時間についてです。B登録は、冒頭申し上げましたように、学童クラブと同一の事業として、就労などにより、放課後、家庭での育成が困難な児童を対象とした放課後児童クラブを実施しております。こちらの利用時間については、これまで学校休業日における開始時間の前倒しの声を多くいただきましたので、これまで8時半開室でありましたものを8時とする予定でございます。なお、延長利用は、引き続き19時まで実施する予定です。

また、学童クラブについては、現在、閉室時間は18時でございましたが、保留児童が発生、またはその見込みが高いきつずクラブ近所の学童クラブについては19時まで延長し、きつずクラブと同様とする予定です。

ご案内のとおり、本区では、一部のきつずクラブにおいて、近年保留児童が生じており、その代替として、近隣の学童クラブ利用を検討する就労家庭も多くございます。しかし、この場合、閉室時間が早い18時までであることから、やむなく就労向け家庭ではないA登録を利用する家庭も見受けられます。

このことから、就労家庭が増加している本区の児童育成を進めるため、保留児童の発生などが見込まれるきつずクラブに近い学童クラブの閉室時間を延長するものでございます。

次に、(3)の土曜江東きつずクラブです。本区の土曜日の放課後事業については、ほかの22区で行っている就労など、保育に欠ける児童を対象とした育成事業を行っておらず、児童館において、居場所のみを提供しておりました。しかし、近年の働き方の多様化などに対応するため、土曜日の事業を居場所の提供から学童クラブ事業、つまり、放課後児童クラブを既存の学童クラブなどの施設を活用しながら、拠点方式として新たに実施するものとして再編の検討をしております。

次に、(4)の利用料についてです。これまでご説明した利用形態の見直しについては、開所時間の見直しなどを踏まえ、改定を検討しております。また、スポット利用につきましては、類似する他の事業の料金などを考慮し、検討いたします。

次に3番の関係規程の整備です。これまでご説明した事業の見直しに伴う事業名称の整理や利用時間、利用料などの変更は、江東きつずクラブの条例の改正や学童クラブ条例の廃止、そのほか関係規則や要綱などの改廃が必要となりますので、所要の整備を行っております。

最後に4番の今後の予定です。来週8月26日開催の文教委員会（臨

時会)に本件を報告いたします。その後、10月開催の第3回区議会定例会に一部改正条例及び廃止条例を付議いたします。そして、11月には、令和2年度事業として、まずB登録に関する募集案内を配布し、12月から受付いたします。令和2年2月には、A登録に関する募集案内を配布し、3月から受付をいたします。そして、4月から本格的に本日も説明させていただく事業を開始する予定でございます。

なお、教育委員会におきましては、今後、引き続き、実施に向けた内容を適宜報告させていただく予定でございます。

私からは以上でございます。

岩佐教育長 それでは、本件について、質疑を願います。

橋本委員 すいません。今、保留児童は結構いっぱいいらっしゃるのでしょうか。

池田地域教育課長 現時点の保留児童についてご報告いたします。

8月現在ということでご報告させていただきますが、現在、きつずクラブにおきましては、10クラブ、合計104名の保留児童が発生しているところでございます。

以上でございます。

岩佐教育長 よろしいですか。

橋本委員 ありがとうございます。

岩佐教育長 ほかに。よろしいでしょうか。

それでは、本報告を終了いたします。

それでは、以上をもちまして、令和元年第8回江東区教育委員会定例会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。